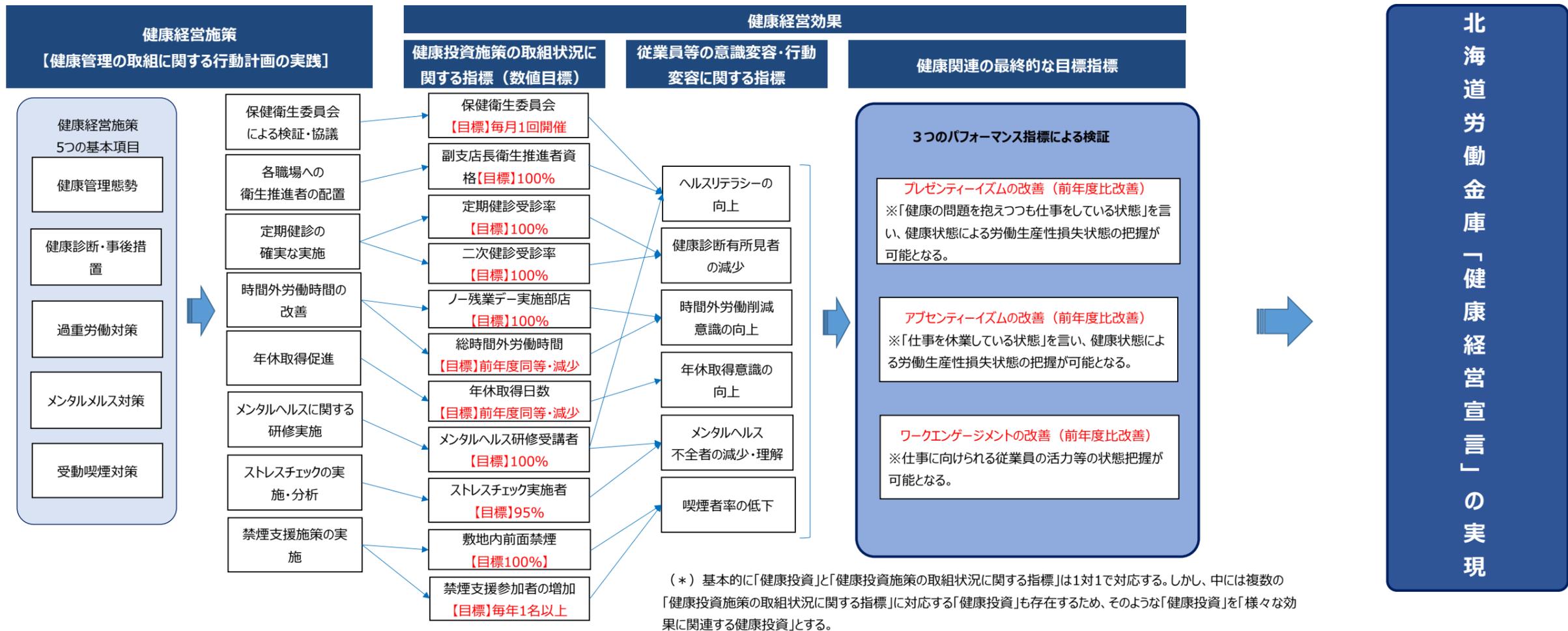


【北海道労働金庫 健康経営宣言】

北海道労働金庫は、全ての役職員が健康でいきいきと働くことの出来る職場づくりの実現に向けて、以下を宣言します。

- 経営理念に掲げる「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」として、その社会的役割を果たすため、職員が心身ともに健康で安心して働き続けることが出来る職場づくりを目指します。
- 職員が心身ともに健康で安心して働き続けることができる職場づくりに向け、具体的な施策を積極的に推進します。
- 全ての役職員ならびにその家族は、ヘルスリテラシーの向上と健康な心身づくりを自律的に実践します。

【戦略マップ】



健康経営に関する各種取組みの実施状況および職員の意識・各種数値の公表

- ・保健衛生委員会・・・労組執行委員も委員会構成員として出席のもと毎月1回開催し、超勤実態や有給休暇取得状況・労災発生状況等各種実態について報告・議論を重ねている。
- ・健康教室・・・「働く女性の健康関連課題」をテーマに全職員を対象とした健康教室を年1回実施。女性の健康関連課題について動画視聴により理解を深める（2023年度参加率91.4%）。
- ・「運動習慣キャンペーン」・・・職員のヘルスリテラシー向上と健康な心身づくりを目的に、役職員の「運動習慣の定着」を促進するキャンペーンを実施（2023年度参加率21.1%）。
- ・定期健康診断受診率・・・2023年度100%（定期健康診断後の二次健診対象者受診率100%）
- ・ハイリスク者への施策・・・65歳以上の全従業員に対し定期健康診断とは別に保健師がフォローアップを実施。
- ・ストレスチェック受診率・・・2023年度95.1%（回答者733人）
- ・職員のヘルスリテラシーの状況・・・この1年の健康経営の取組みを通して自身のヘルスリテラシーは向上したか（2023年度：向上した・・・41.2% 変わらない・・・57.9% 下がった・・・0.9%）
- ・2024年4月より敷地内全面禁煙の実施

	2022年度	2023年度
喫煙率	19.2%	18.1%

健康関連の最終的な目標指標に対する実績値の公表

	2022年度	2023年度
プレゼンティーズム	-	18.9%
アブセンティーズム	1.9%	1.6%
ワークエンゲージメント	2.5点	2.5点

※測定方法

- ・プレゼンティーズム・・・職員アンケートにおいて、SPQ（Single-Item Presenteeism Question 東大1項目版）を実施
- ・アブセンティーズム・・・1か月以上の欠勤・休職者が全体の労働者に占める割合
- ・ワークエンゲージメント・・・新職業性ストレス簡易調査票（短縮80項目版）で測定